

げんキッス



杉並区立杉並第四小学校
平成26年2月12日
発行：保健室 玉置 美恵子

久しぶりに大雪が降り、まだ厳しい寒さが続いています。先週からインフルエンザによる欠席が徐々に増えて2年生は学年閉鎖をしました。A型・B型両方出ております。まだまだ感染の兆しはありますので、予防に努めながら気をつけてすごしましょう。

朝から咳や頭痛・腹痛・悪寒・発熱などの症状がある場合は必ず検温もしてみましょう。無理して登校してもすぐに早退せざるを得ないケースが多く、そのことが感染拡大につながってしまうことにもなることもあります。

体調不良の時は安静にして、自己免疫力を高めることが症状を悪化させないこととなります。

自分のためにも、他の人へうつさないためにもさらに、ご家庭で朝の健康観察をよろしくお願いいたします。

いのちの授業・誕生学の感想より

～1・2・6年にゲストティーチングを行い実施しました～

児童の感想

- ・自分はひとりで生きているのではないことを改めて学びました。
- ・お母さんがお腹を痛めて運だからこのいのちを大切に生きて行きたいと思いました。
- ・生んでくれてありがとうと言いたい。
- ・自分のいのちも他人のいのちも大切にしていきたいと思った（多数）
- ・楽しい授業でお母さんにつながっていたおへその意味がわかった。
- ・自分の気持ちをわかってくれてうれしかった。自分の人生はこれからなので頑張りたい。（思春期のころについて共感してもらえましたね）
- ・『いのち』ってすごいと思った。私が子どもを産んだら、絶対可愛がってあげようと思いました。自分のいのちも他人のいのちも大切にできる人になりたいです。



・自分のいのちはとても大切だと思い産んでくれた父と母に感謝したいと思いました。私はこれから自分を信じ前向きに生きていきたいです。

・赤ちゃんは大人の出来ないことが出来ることが一番心に残っておもしろかった。

・赤ちゃんが子宮の中ですごいことをやっていたり、生まれる時もうまく体をひねりながら出てきたのがすごいと思った。いのちを大切にしたい。

・帝王切開（命の窓からの出産）のほうが痛くなくていいなあと思いました。もし子供が産まれたら、愛情をいっぱいあげて育ててあげようと思いました

・ひとに言葉づかいをよくして、優しくしたいなと思った。これからは。

・改めていのちの大切さを実感した

・ひとのいのちはとても重いのだなと当たり前なのだが思えた。

・子どもはほしいけど痛そうだなと思った。話がわかりやすく良く分った。

・人間を育てるには食べ物だけではなく愛情が必要だということが分かった。

・赤ちゃんのことが良くわかった。最初のいのちが0・13ミリなんて小さくてびっくりした。

保護者より

・我々の小学校時代にはこうした授業を受けた事がないので、どのような反応を示すか興味がありましたが、思いのほか真剣にきいていた。低学年でも関心のあるテーマだなと思った。・オープンに男女をそれぞれ知ることが出来ますね。

・「あのように説明すれば良いのか！」と非常に参考になりました。

・とても真剣に聴いていて、自分がどのように生まれてきたのかとても興味があって、知りたい気持ちが強いのだなと思いました。

・子供達が家族の皆に愛されてきたんだと自覚し、親の私達も子どもが生まれてきたときの気持ちを思い出させてくれる内容だった。

・低学年で自分たちがどのように誕生してきたかを聴けるのは、とてもよい経験になると思います。

・子供にも理解しやすい内容で話していただいたので子供達も受け止められたとおもいます

・思春期を迎える年頃で不安や戸惑いを感じていると思います。プライベートゾーンを大事にすること、親として教えて行かなければならない事のきっかけになりました。いのちの尊さ、授かれた事の感謝、愛しいと思える子どもの存在改めて実感できました。

・とても良かった！あるがままを見せて知るのは大事です。